

ヒヤリハット体験

タイトル	急勾配の崖を下りるとき、転落（右手首を打撲）	
部門	活動内容	
	団合同の隊集会	
発生日	発生時間	発生場所
12月29日		団野営場
ヒヤリハット体験の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ビーバー、カブ隊は門松づくり ・ ボーイ隊は、竹を使った正月飾りを恒例で作っている <p>正月飾り用に、枝ぶりの良い松のある場所を知っている指導者が、その場所に</p> <p>向かった。</p> <p>急勾配の崖の途中に（高さ3m）良い枝を張り出している松があり、指導者は、剪定ハサミを手に持ち草のかぶに足をかけ松の木まで崖を登った。</p> <p>枝ぶりの良い枝を剪定し、崖の下に落とし、作業が終わり、身体の前面を崖</p> <p>側</p> <p>に向けたため、向きを変えようと草かぶに足をかけたとき、バランスをくずし、3m下まで転がり落ちた。</p> <p>剪定ハサミを右手親指にかけた状態で転がり落ちたが、手首・親指の打撲だけで事なきを得た。</p> <p>【追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恒例行事で、指導者は周辺のどこに何があるかよく知っていた。 ・ 毎年、指導者は一人で松の剪定に行き、隊集会に間に合わせていた。 ・ 落ちた年は、場所を団委員に教えるため、数人で行った。 ・ 崖を登ったのは、落ちた指導者一人だった。 		
備考欄		